



ブックスタートに携わる 中谷 純子さん (下延沢) (左)

まちづくり情報特派員特集

開成町ブックスタート

「ブックスタート」という言葉を知っていますか？
0歳児のいるご家庭に、絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本をプレゼントする事業です。

町では、この取組みを今年からスタートしました。今回は町民センターで行われたブックスタートの現場を訪れました。

＊ブックスタートのながれ＊

絵本の出始め



町の「7～8か月児健康相談」。生まれて7～8か月の赤ちゃんが、保健センターにやってきます。



相談を待つ親子に読み聞かせをします。(写真右が平野さん)



4種類の絵本から気に入った絵本を選びます。



気に入った1冊をその場でプレゼント！

ブックスタートに携わる 中谷 純子さん (下延沢) (左)

「0歳児ですから、本の内容などはわかりません。ですが、こうしてママやパパの声を聴くことが、赤ちゃんにとってとても大切な事です。」と平野さんは言います。

さっそく、もらった絵本をママの優しい声で語りかけます。可愛い絵を覗きこむ赤ちゃん。なかには絵本にしゃぶりつく赤ちゃんも(笑)

ママと赤ちゃんが温かい時間を過ごしていることがこちらにも伝わってきました。

テレビやスマートフォンにはない「肉声の優しさ」や「肌の温もり」から感じる安心感は、大切な時間だと実感しました。

「言葉のわからない赤ちゃんに、何をしゃべって良いのかわからない、というママやパパも、絵本を読むことでそういった不安を解消できるのではないだろうか。」と平野さん。

忙しい現代だからこそ、絵本を通じて、大切な時間を赤ちゃんと共に共有する喜びを味わえるのは、とても素敵ですね。

そうそう、パパの声も赤ちゃんの耳に優しく響くそうですよ。この日はパパの姿はありませんでしたが、ブックスタートを経験したパパも、たくさんいるそうです。

パパの声がぴったりの絵本もあるそうです！読み聞かせが、パパと赤ちゃんの素敵なコミュニケーションタイムになることも請け合いです。

ママもパパも赤ちゃんも、大切な思い出になってくれたら嬉しいですね。

編集後記

そういえば私も布団の中や両親の膝の上で読み聞かせをしてもらった思い出があります。そういう記憶は、不思議と忘れないものですね。

そして今、小学生になった子どもにも度々読み聞かせをしています。先に眠ってしまったりしながら(笑) こうした時間が家族の幸せへの一番の近道なのかも知れませんね。

まちづくり情報特派員 小田 猛



読み聞かせ！

「ママだって人間なんだから」という保健師さんのアドバイスに励まされました。完璧にこなそうとせず、イライラもニコニコも気持ちのままに過ごしていきたいと思います。人間なんだから！



今がずっと続くわけではないので、周りの方にたくさん協力してもらって少しでも笑顔で。

母の笑顔が子どもにとっての一番の栄養だと思います。

始めの1年は余裕のないままあっという間に過ぎます。気付くと子どもは走り回るようになり、おしゃべりも始まり、もっと日々を楽しめたらよかったなと思います。今が大変なお母さん、すぐに楽になりますよ。大丈夫、大丈夫！



妊娠、出産から0歳児のお世話は本当に心身ともに大変ですが、このかわいさは今しか味わえないと思って、周りに頼りながら一緒にがんばりましょう！

妊娠中は出産するまでずっと不安で安心することがないし、子育ても毎日が試行錯誤で正解はないけれども、半人前な母は子どもと一緒に成長して一人前になればいいのかなと思います。

家にこもっていても考え過ぎてしまうので、あじさいっこやあそぼう会、ファミサポなどたくさん利用して、自分の時間をつくってほしいと思います。どんどん人に頼って育児しましょう！

始めの1年は余裕のないままあっという間に過ぎます。気付くと子どもは走り回るようになり、おしゃべりも始まり、もっと日々を楽しめたらよかったなと思います。今が大変なお母さん、すぐに楽になりますよ。大丈夫、大丈夫！

あじさいっこに遊びに来ていた皆さん▶

産後から責任を感じて色々頑張っていました、自分のペースでゆっくりすることが大切だと思いました。無理はしないで、その日、その時に出来ることだけやれば良いと思います。

頑張るママたちへ！
先輩ママから妊娠中や子育て真っ最中の方々へのメッセージです。

子育てを経験して、親も少しずつ親として成長するのだと思います。最初から「立派な親」「親としてこうあるべき」である必要はないと思います。



産後から責任を感じて色々頑張っていました、自分のペースでゆっくりすることが大切だと思いました。無理はしないで、その日、その時に出来ることだけやれば良いと思います。

辛い時期はほんの一時期です。あっという間に過ぎてしまいます。周囲の協力も借りながら無理しすぎず、頑張ってください。



子育てはママとパパ、どちらも重要な役割を担っています。二人で協力し、楽しく育児できることが一番望ましいですが、ママの方が育児に関わる事が多く、その分悩みや課題を抱えやすいのが現実です。

今回取材したママたちも、様々な悩みや課題を抱えていましたが、どこか楽しみながら育児をしている姿が印象的でした。ママたちは皆さん「開成町は子育てがしやすい。」と話していました。それは、「開成町は、町全体で子育てを応援してくれていると感じることが出来るから。」とママたちは言います。

ママたちの悩みや課題に対して、それぞれのライフスタイルに合わせた子育て支援を利用できること、そして何より地域や町民一人ひとりが、子育てする皆さんを応援する優しい空気が流れていることが、開成町でママになる方が多い理由なのかもしれません。



ママ、パパ、だ～いすき！

優しい空気が流れるまち